

対話型鑑賞ファシリテーター 養成講座

トコトン「やって」「ふいかえる」—
単なるノウハウ伝授の場ではない、
理論に基づいた“考え方”をしみこませる場。
だから受講後も成長しつづけられる！



日時

2020年2月15日(土)10:30-17:30

2月16日(日)10:30-18:30

3月15日(日)10:30-19:30

会場

花伝舎

〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-12-30

<https://www.geidankyo.or.jp/12kaden/chizu/index.html>

受講料
定員

一般:54,000円 学生※:44,000円 法人:81,000円 (いずれも税込)

※高等学校、専門学校、大学、大学院などの教育機関に通学し、その機関より発行された有効期間内の学生証を提示できる場合でかつ2019年4月時点で25歳以下の方を対象とします。

定員 12名

QRコードからも
お申し込み
いただけます！

申込
方法

ARDAのHPよりお申し込みください。

http://www.arda.jp/seminar_application

※2月の2日間のみご参加をご希望の方はお問合せください。



主催

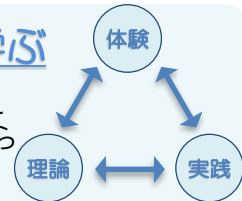


NPO法人芸術資源開発機構(ARDA アルダ)

<http://www.arda.jp/>

1 体験・理論・実践を繰り返して”考え方”そのものを学ぶ

体験したことが、理論とどう結びつくのかを知り、理論に基づくアクションを考えて実践、結果としてどんな効果があったかを振り返る—これらを繰り返しながら対話型鑑賞の考え方そのものを学ぶことができます。



2 講座全体が対話型。本気で参加すればするほど学びが深くなる

講師と受講生、受講生と受講生とがインタラクティブに意見交換する場が多く設けられています。リアルな事象を丁寧に取り上げ、理論を土台にしながら建設的な対話を行います。自分が感じたことを率直にその場に提供することが深い学びに繋がります。

3 修了後も学び続ける！充実したフォローアップ環境

講座終了後もファシリテーターとしてスキルアップし続ける場を用意。修了生同士による勉強会を毎月行っています。期を超えた交流の場で、刺激を受けながらスキルアップを目指すことができます。

対話型鑑賞を体験したことのない方からすでに実践されている方まで、幅広いニーズに対応できるカリキュラムとなっています。

1 日 目	体験と講義： 対話型鑑賞とは？ ファシリテーターの3つの質問と7つのポイント 実践：ミニ・ファシリテーション 講義：美的発達段階と学びの意義
2 日 目	講義：作品選びについて 実践：ミニ・ファシリテーション 体験：ファシリテーションの準備 きく・応答するワークショップ
課題の提出と講評	
3 日 目	体験：作品選びとシーケンスづくり ファシリテーターとしての準備 実践：コーチング・ファシリテーション

鑑賞者体験で、感じたことを言葉にできなかったのが、何度も体験していくうちに言語化しやすくなりました。それがファシリテーターの実践にも活かしたと思います。(中学校教員)

内容満載で、いつもと違う脳を使ったのでとても疲れしました(笑)。作品選びではとても悩みましたが、学びも多かったです。(起業準備中)

実践を通して理解を深められました。本を読むだけでは得られない実感として学べたのが良かったです。(美術教員)

実践の大切さが身に沁みました。実践で場が盛り上がると楽しくてもっとやりたくなりました！(会社員)

やればやるほど面白いですが、自分の課題点がたくさん見えてきました。今後も学び続けたいです！(公務員)



三ツ木紀英(みつきのりえ/アートエドゥケーター・ARDA代表理事)

英国留学後、フリーランスや NPO の立場で、美術施設だけでなく街や施設の中で展覧会・ワークショップのコーディネーションを行う。ニューヨーク近代美術館の元教育部長フィリップ・ヤノウィンより、一年にわたり Visual Thinking Strategies を学び、近年は対話による美術鑑賞のファシリテーター育成することで、社会とアートの接点を開拓中。

●主な仕事：大和市、西東京市「対話による美術鑑賞事業」プロジェクト・エドゥケーター、東京都美術館とびらプロジェクト鑑賞実践講座講師(2012年～)等多数。

●執筆：共著「現代アートの本当の楽しみ方-表現の可能性を見つけにいこう-」(フィルムアート社/2015年)、共著「現代アートの本当の見方-見ることが武器になる-」(フィルムアート社/2014年)、「岡本太郎とアール・ブリュット」展カタログ「今日(こんにち)のワークショップ-自分の中に全体性を取り戻す-」(川崎市立岡本太郎美術館/2013年)等。



お問い合わせ

NPO法人芸術資源開発機構(ARDA アルダ)
担当：白山(しらやま) seminar@arda.jp

<http://www.arda.jp/>